

科学研究費助成事業 研究成果報告書

平成 29 年 6 月 19 日現在

機関番号：16401

研究種目：基盤研究(B) (一般)

研究期間：2011～2015

課題番号：23320151

研究課題名(和文)《山本憲関係書簡》に残る康有為の従兄康有儀等の手紙からみた近代日中交流史の特質

研究課題名(英文) Characteristics of the history about modern exchange between Japan and China focusing on the letters that Kang You-yi, a cousin of Kang You-wei, wrote in the Yamamoto Ken Kankei Shokan

研究代表者

吉尾 寛 (Yoshio, Hiroshi)

高知大学・教育研究部人文社会科学系人文社会科学部門・教授

研究者番号：40158390

交付決定額(研究期間全体)：(直接経費) 7,700,000円

研究成果の概要(和文)：「山本憲関係資料」には、清末の変法派が山本憲に送った非常に多くの書簡があり、それらは近代の日中文化交流史のための貴重な史料である。本研究では、その変法派人士の書簡等について翻刻と現代日本語訳および解題・注を完成させた。また、山本に手紙を送った清人の多くは、1897年に山本が訪清した際面談した者であり、そのため、その漢文の旅行日記『燕山楚水紀遊』についても現代日本語訳・注・解題及び種類の索引を作った。

研究成果の概要(英文)：The YAMAMOTO Ken Kankei Shiryo 山本憲関係資料 has many letters that the faction called Bianfa-pai in the late Qing sent to YAMAMOTO Ken. They are very valuable historical materials to examine the modern cultural exchange between Japan and China. We accomplished three sorts of tasks concerning this historial collection: (1)printing in type the manuscript of letters of the intellectuals of Bianfa-pai and Japanese politicians, (2)translating classical Chinese and Jananese into modern Japanese, and (3)annotating on these letters. We also accomplished the same kind of tasks and the creation of several indexes about the travel literature, the Enzansosui kiyu 燕山楚水紀遊, which YAMAMOTO wrote during his visit to many places in Qing in 1897, because many of those who met YAMAMOTO sent their letters to him afterward.

研究分野：東洋史

キーワード：中国近代史 日本近代史 日中文化交流史 変法 書簡 漢学 山本憲 翻訳

1. 研究開始当初の背景

(1) 山本憲については、自由民権運動家、中国の知識人のため尽力する日本・西洋の書籍の翻訳者、近代日本を代表する漢学者としてその輪郭を描くことができる。山本憲に関する史料については、いち早く中国で動きがあった。変法派の汪康年の下に残された書簡の中に山本憲の書簡があることが明らかになった(『汪康年師友書札』2「山本憲」部、上海古籍出版社、1989)。この資料を踏まえて汪康年と山本憲の交流も明らかにされた(呂順長「山本梅崖と汪康年の交遊」『四天王寺国際仏教大学紀要』45、2008)。

(2) 2006年5月、山本憲のご遺族が高知市立自由民権記念館に6000点以上の遺品を寄託された。当館はその整理と史料的価値の解明を高知近代史研究会会長公文豪氏に依頼し、公文氏からまもなく吉尾に協力要請がなされた。この遺品群を「山本憲関係資料」と称する(以下「資料」と略)。2011年『山本憲関係資料目録』が刊行され、筆者も2006年、汪康年書簡に絞って当該資料の紹介とその史料的価値について文章を発表。「汪康年書簡」が上海図書館編『汪康年師友書札』所収の山本憲の書簡15通と往復書簡の関係にあることを実証した。「書簡」は「特筆される私的史料」として学界の知るところとなった。

2. 研究の目的

(1) 「山本憲関係資料」に存する書簡群並に山本の著作等を可能な限りデジタル撮影して、実物を保存するとともに、研究資料を確保する。また、このことによって、本資料に対するご遺族、収蔵機関高知市自由民権記念館のプライオリティを明確にし、国際共同研究の条件を整える。

(2) 「資料」中の書簡群(崩し字の漢文、和文)の復元と分析、その内容に関係する山本憲の著作について検討することを通して、山本憲の交流活動(自由民権運動、日・西文献の漢訳活動、漢学教育)に即して、19世紀末から20世紀前半の日本・中国の民間交流の歴史的特質に迫る。

3. 研究の方法

(1) 「資料」は専門の会社(四国工業写真株式会社)にデジタル撮影を委託し、肉眼で確認できない部分まで復元する。

(2) 「書簡」中、梁啓超、康有為、汪康年、王照等々の中国・清末の変法派人士の親書のほか、山本憲の漢学塾「梅清処塾」の門人で、日本に亡命した変法派の連絡役も務めた、康有為の従兄「康有儀」の多数の書簡(崩し字の漢文)、そして変法派と関わった日本人の書簡(崩し字和文)等、総計約250通について可能な限り翻刻(楷書化と点校)と和訳及

び解題・注を作る。

(3) 「書簡」からだけでは当時の山本憲の思想等は確認し難い。また当該書簡の差出人の多くは、山本憲が1897年9月23日~12月1日、訪清した際面談した人であった。その訪清の旅行記(漢文)『燕山楚水紀遊』の現代和訳、注、索引を作り、山本憲の当時期の中国観、日中関係論等について明らかにする。

4. 研究成果

主要な研究成果は下記の9つである。

(1) 研究期間内に撮影した資料は全1463点、コマ数は約9000に及んだ。出来上がったデジタル資料の複製は、高知市立自由民権記念館及び山本憲のご遺族に寄贈した。前者は「山本憲関係資料」の研究のため広く活用されることになった。

(2) 書簡は下記の研究体制のもと、以下のように分担、相互に検討して翻刻、和訳等の作業を完成した：康有儀85通(呂順長・小野泰教分担)、汪康年19通(呂・吉尾寛)、梁啓超8通(周雲喬)、康有為8通(呂・小野)、葉瀚2通(蒋海波)、王照6通(大坪慶之)、徐勤2通(周)、羅振玉2通(蒋)、孫カン(ㄚ+金)3通(周)、梅清処塾の弟子等7通(吉尾)、日本人書簡(古城貞吉、小倉久、西山志澄)3通(公文豪)、同封重要文書5件(公文・大坪・吉尾)。なお、当初本科研は、中国・安徽大学と共同研究を計画していたが、先方の改組等により計画を中止せざるを得なくなった。研究協力者の変更と調整に時間がかかり、研究期間を1年延長した。

(3) 山本憲および康有儀ら梅清処塾生の漢訳作業、著書による交流：康有儀書簡に基づいて、『佳人之奇遇』の翻訳者を改めて梁啓超でなく、康有儀として特定したこと等。

(4) 戊戌政変直後の状況と日本に亡命した変法派人士に対する山本憲の支援活動：「戊戌政変」(1898.9.21)が起こるとその一報が山本に届く。山本は汪康年らの状況を懸命に把握しようと書簡を送り続け、そこで康年から書簡が届く。山本は康有為・梁啓超らの活動を支援するため、「日清協和会」を大阪に設立したこと等。

(5) 日本亡命後の変法派の動向：例えば、山本憲が仲介して、梁啓超は康有為とともに多くの日本政界の要人と交わった。書簡には勝海舟・近衛篤磨・副島種臣などの名前があった等。

(6) 康有儀、山本憲の横浜大同学校への関わり：康有儀は横浜において『清議報』刊行作業を手伝うのみならず、横浜大同学校で教員も務めた。校長である徐勤や彼を校長に推薦した康有為からだけでなく、学校運営を担っ

た康有儀の目を通した横浜大同学校像が新たに浮かび上がった等。

(7)梅清処塾の塾生とその周辺：1897 年末から汪有齡、嵇侃ら清国人が山本の梅清処塾で日本語の学習を開始する一方、梅清処塾の門生（日本人）にも清に渡り汪康年、葉瀚のもとで学んだ者が出ていた等。

(8)『燕山楚水紀遊』について：本書は、山本憲の高い儒学の学識が随所に示され、難解な部分も少なくなく、従前全訳されたことがなかった。研究班内にこの作業に専念できる者（蒋海波）を立て、その草稿を他の者が監訳する形をとった（狭間直樹）。また、その挿絵 26 点についても絵の具体、題辞の原文・和訳を明らかにした。

なお、以上の成果は、『変法派の書簡と『燕山楚水紀遊』 「山本憲関係資料」の世界』（汲古書院 2017）と題する報告書を作り、公にした。

(9)研究活動を進める過程で、「山本憲関係資料」と縁のある機関・地域にその内容と史料的价值を紹介した：本科研の顧問・狭間直樹氏の紹介により、中国・清華大学国学研究院（梁啓超研究の国際的拠点の1つ）に梁啓超書簡の複製（印刷）物を寄贈した（2012）。

山本が漢学塾「梅清処塾」を開き、終焉の地となった岡山県牛窓において、2 度研究集会を開催し、「牛窓観光協会」等関係者の方に「資料」について説明するとともに、当地に残る揮毫等を見学する機会を得た。これらによって、牛窓において山本憲の業績を再確認する契機を作った（2013、2014）。

5. 主な発表論文等

（研究代表者、研究分担者及び連携研究者には下線）

〔雑誌論文〕（計 17 件）

呂順長、政治小説『佳人奇遇』の「梁啓超訳」説をめぐって、アジア遊学（衝突と融合の東アジア文化史）、査読無、199、2016、144 - 156

大坪慶之、書評：白春岩著『李鴻章の対日観 「日清修好条規」を中心に』、法史学研究会会報、査読無、19、2016、165-172

小野泰教、書評：潘光哲『晚清士人的西学閲読史（一八三三～一八九八）』、中国 社会と文化、査読無、31、2016、206-213

呂順長、小野泰教、康有儀の山本憲に宛てた書簡（訳注・その四）、四天王寺大学紀要、査読有、61、2016、259-276

呂順長、小野泰教、康有儀の山本憲に宛てた書簡（訳注・その三）、四天王寺大学紀要、査読有、60、2015、359-378

蒋海波、孫文著作の日本語翻訳について、孫文研究、査読有、57、2015、13-30

大坪慶之、日清講和にむけた光緒帝の政策決定と西太后、史学雑誌、査読有、123-3、2014、69-93

大坪慶之、光緒帝親政期における西太后の政治関与、ふびと、査読無、65、2014、1-20

呂順長、康有儀の山本憲に宛てた書簡（訳注・その二）、四天王寺大学紀要、査読有、55、2013、419-443

蒋海波、形象化された辛亥革命 マッチラベルから見る近代中国の社会変遷、グローバルヒストリーの中の辛亥革命、汲古書院、査読有、2013、148-171

蒋海波、『東亜報』に関する初歩的研究 近代日中「思想連鎖」の先陣として、現代中国研究、査読有、32、2013、19-38

呂順長、康有儀の山本憲に宛てた書簡（訳注）、四天王寺大学紀要、査読有、54、2012、399-428

柴田清継、蒋海波、明治期高知における日中文人の交流 旅の詩人王治本を中心として、日本語日本文学論叢、査読有、7、2012、47-80

大坪慶之(著)田由甲(訳)、垂簾聽政時期、清朝中央決策過程中的召見・上奏・廷議、現代“中国”社会變動與東亞新格局、北京・社会科学院文献出版社、査読無、2012、199-209

吉尾寛 他、橋詰益彌と王照の土佐来遊、臨海地域における戦争・交流・海洋政策、リール出版、査読無、2011、165-221

吉尾寛、小樽高等商業学校教授・橋詰益彌と「変法」派人士の日本亡命、小樽商科大学史紀要、査読無、5、2012、35-37

大坪慶之、イリ問題にみる清朝中央の政策決定過程と総理衙門、東洋史研究、査読有、70-3、2011、39-68

〔学会発表〕(計15件)

蒋海波、神戸与戊戌維新運動、近代中国と東アジア 新史料と新視点、2016年11月19日、杭州(中国)

吉尾寛、山本憲が受け取った変法派の書簡とその訪清記『燕山楚水紀遊』について、内藤湖南研究会、2016年11月12日、河合塾京都校(京都府・京都市)

呂順長、王照潜返中国前的異常挙動、浙江工商大学と早稲田大学主催の国際シンポジウム「日本对中国文化的摂取與創新」、2015年11月8日、杭州(中国)

小野泰教、書評：岡本隆司・箱田恵子・青山治世著『出使日記の時代 清末の中国と外交、中国社会文化学会ワークショップ・中国外交史研究の最前線、2015年3月27日、東京大学(東京都・目黒区)

蒋海波、民権派儒学者目睹变革前夕的中国山本梅崖『燕山楚水紀遊』細読、異域之

眼 日本人的漢文游记研究国際學術研討会、2015年3月15日、杭州(中国)

呂順長、『佳人奇遇』の「梁啓超説」説を覆す新証拠、中国現代史研究会 2012 年度総会、2013年3月18日、ホテルクライトン新大阪(大阪府・大阪市)

蒋海波、『東亜報』に関する初歩的研究 近代日中「思想連鎖」の先陣として、中国現代史研究会、2013年3月17日、金山プラザホテル(愛知県・名古屋市)

大坪慶之、西太后統治下の清朝中央における政策決定過程と「政治空間」、三重大学歴史研究会大会、2013年1月26日、三重大学(三重県・津市)

蒋海波、早期広東華僑在開港口岸神戸的業績 以文化交流為中心、中央研究院人文社会科学研究中心海洋史研究專題中心海洋史研究工作坊(二)口岸与海外華人、2012年9月28日、台北(台湾)

吉尾寛、変法派人士の書簡を中心とする山本憲関係資料の特徴、安徽大学高知大学學術討論会、2012年6月27日、合肥(中国)

周雲喬、梁啓超から山本憲への書簡について、安徽大学高知大学學術討論会、2012年6月28日、合肥(中国)

OTSUBO Yoshiyuki、The Policy Making and 'Political Space' in the Late Qing Dynasty、The Second Congress of the Asian Association of World Historians, Session D3; Modernization in Asia and "Political Space"、28 April 2012、Ewha Womans University, Seoul, Korea

蒋海波、形象化された辛亥革命 マッチ
ラベルから見る近代中国の社会変遷、孫文研
究会・辛亥革命百周年記念国際学術シンポジ
ウム、2011年12月10日、神戸大学(兵庫県・
神戸)

吉尾寛、「山本憲関係資料」(高知市立自由
民権記念館)と近代日中交流史 地域社会に
のこる外国史資料のもつ可能性、2011年度
四国東洋学研究者会議・徳島大学総合科学部
地域環境創生研究プロジェクト・シンポジウ
ム「人文科学における地域研究の視点」、2011
年9月23日、徳島大学(徳島県・徳島市)

吉尾寛、清末・変法派人士が山本憲に宛て
た手紙、第57回中国四国地区中国学会大会、
2011年5月28日、高知大学(高知県・高知
市)

〔図書〕(計4件)

吉尾寛、周雲喬、公文豪、呂順長、小野泰
教、大坪慶之、蒋海波、狭間直樹、高橋俊、
古谷創、変法派の書簡と『燕山楚水紀遊』
「山本憲関係資料」の世界、汲古書院、
2017、1-540(全)

狭間直樹、張雯(訳)、日本早期的亞洲主
義、北京大学出版社、2017、1-315(全)

狭間直樹、梁啓超 東アジア文明史の転
換、岩波書店、2016、1-214(全)

董廉群、蒋海波、王伯林、王敬祥関係档案
選録(金門華僑史料叢書)、金門県政府、查
読無、2011、1-317(全)

〔産業財産権〕

出願状況(計0件)

名称：
発明者：
権利者：
種類：
番号：
出願年月日：
国内外の別：

取得状況(計0件)

名称：
発明者：
権利者：
種類：

番号：
取得年月日：
国内外の別：

〔その他〕
ホームページ等

6. 研究組織

(1) 研究代表者

吉尾 寛 (YOSHIO, Hiroshi)
高知大学・人文社会科学系人文社会科学部
門・教授
研究者番号 40158390

(2) 研究分担者

周 雲喬 (SHU, Unkyo)
高知大学・人文社会科学系人文社会科学部
門・教授
研究者番号 40263967

(3) 連携研究者

小幡 尚 (OBATA, Hisashi)
高知大学・人文社会科学系人文社会科学部
門・教授
研究者番号 30335913

(4) 研究協力者

大坪 慶之 (OTSUBO, Yoshiyuki)
小野 泰教 (ONO, Yasunori)
公文 豪 (KUNMON, Go)
蒋海波 (JIANG, Haibo)
呂 順長 (LU, Shunchang)
(顧問)
狭間 直樹 (HAZAMA, Naoki)